

中期経営計画2025



2021年、当社は新たな経営理念「ニーズをつなぎ、未来を創る」を掲げ、ビジネス領域を飛躍的に拡大しました。さらなる発展を目指して策定した「中期経営計画2025」では、従来の営業スタイル、経営基盤、企業カルチャーを変革し、お客さまとの価値共創を力強く推進するプラットフォームカンパニーへと成長します

代表取締役社長 中村 昭

複層的な事業ポートフォリオで未来を創る

当社は、5月12日に22年度本決算発表と併せて、「中期経営計画2025」を発表しました。

前中計は19年度から23年度までの5ヵ年計画として策定しましたが、22年度の実績が前中計の最終年度である23年度の連結数値目標に対して、概ね達成が見込まれる水準まで到達したこと、ビジネス基盤や経営基盤の強化が着実に進展していること、また、当社を取り巻く事業環境の著しい変化等を踏まえ、このタイム

ングで新たな中期経営計画を策定したものです。

「中期経営計画2025」では事業ポートフォリオの変革と高度化に取り組んでいきます。

事業ポートフォリオ全体を「コア」「グロース」「フロンティア」という、3つの分野に分け、成長の時間軸が異なる事業ポートフォリオをマネージしていきます。

「コア」は国内リースや不動産といった、従来から当社が相応のプレゼンスを擁する分野で、今中計の「変

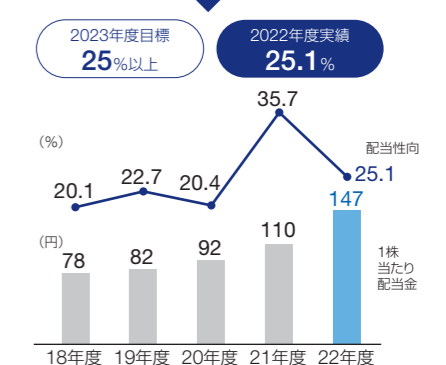
連結数値目標達成状況



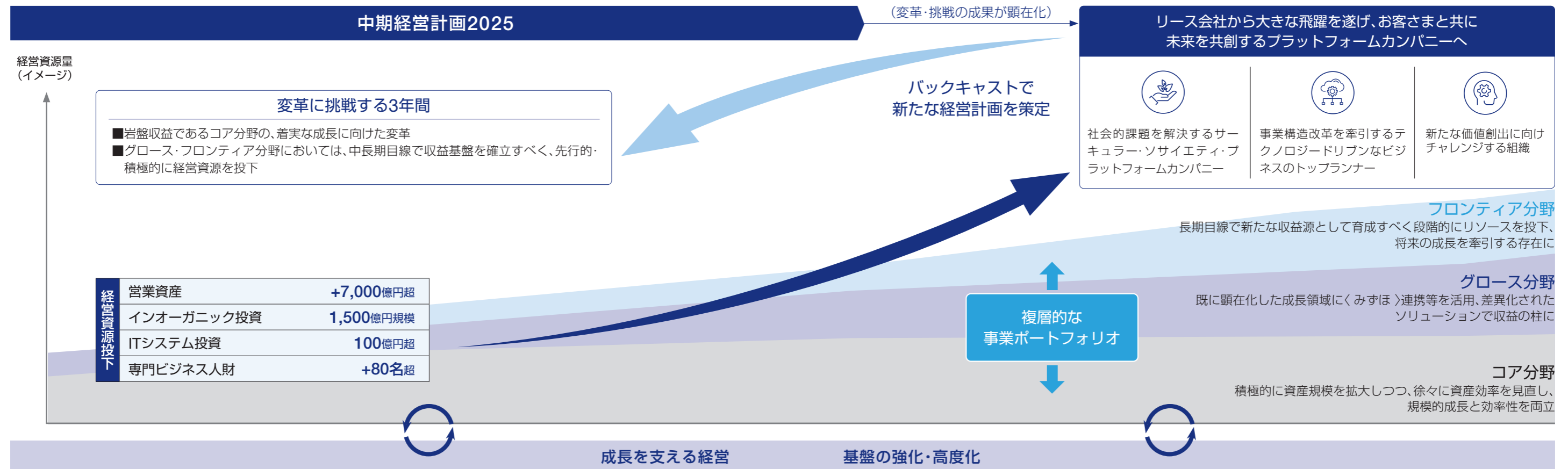
グローバル分野の営業資産残高



配当性向



「中期経営計画2025」の位置付け



アライアンス戦略が成長を加速する源泉

投資と事業会社への直接投資やCVCを活用したスタートアップ企業との連携強化、価値共創投資の拡大を進めてまいります。

「フロンティア」はサーキュラーエコノミーやXaaSといった、長期目線で育成し、将来的に大きく花開くことを期待する分野です。

アライアンスパートナーとの連携も活かしながら、サーキュラーエコノミーのプラットフォームを構築し、高度循環型社会・脱炭素社会実現を目指します。またロボットのアセットホルダーとしてさまざまなソリューションを提供するRaaS(Robotics as a Service)など、お客さまの事業構造改革をサポートするためのサービスであるXaaSを実装してまいります。

これら取り組みを通じて、安定収益を着実に伸ばしつつ、成長領域での資産拡大も進め、「異なる時間軸」の事業ポートフォリオをマネージしていきます。

これらのポートフォリオをマネージし、成長を加速するための源泉となるのが、〈みずほ〉との連携をはじめとした、アライアンス戦略です。みずほグループや丸紅グループとの協業は、当社にとって最大の強みであり、同業他社との差別化を図り、競争力を高めるために、確りと連携を進めてまいります。

当社の最大の強みである〈みずほ〉との連携においては、前中計を通じて基盤固めを行い、着実に成果を上げてまいりましたが、①お客さまの経営課題に徹底的に向き合い、価値共創・課題解決に向けた提案営業スタイルへの変革等、連携の質的転換を図ることや、②銀行グループでは対応が困難な、当社ならではのソリューションを、〈みずほ〉の顧客に提供すること、そして③最大級の顧客基盤を有する〈みずほ〉各社との連携を通じた、新たな顧客の開拓を通じ、さらなる成長を加速してまいります。丸紅グループとは、主に海外を中心に共同

事業を推し進めるとともに、リコー、リコーリースとは、ベンダーファイナンスの推進や、双方が強みを持つ領域における連携テーマも進めてまいります。

サーキュラーエコノミープラットフォーム構築に向けて

当社の選定した6つのマテリアリティに対する取り組みを、ビジネスを通じて推進することで、循環型社会を共創し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。具体的には、当社は新中計期間中に「再エネ発電設備容量1ギガワット確保」を目標として掲げました。既に事業参画している太陽光はもとより、バイオマス、系統蓄電池等、多様な供給電源を確保し、目標の達成を目指します。その上で、再エネ電源を需要家へ供給するためのインフラを構築し、サーキュラーエコノミーや蓄

電池といった当社が注力するビジネスでの活用を進めます。また、サーキュラーエコノミーについて申しあげると、ケミカル・マテリアル資源循環率を2027年度に85%以上とすることを掲げており、アライアンスパートナーとも協働しながら、製品ライフサイクルの一連のプロセスにおける透明性を担保するとともに、資源利用の最適化を促進します。当社グループが核となり、動脈産業と静脈産業を結びつけるサーキュラーエコノミーのプラットフォームを構築し、脱炭素、循環型社会の実現といった社会的課題に対するソリューションを提供し、お客さまとの価値共創を実現していきます。

「中期経営計画2025」の全体像

キーワード **挑戦** **変革** **成長** 本中計期間における成長と将来の更なる飛躍に向け、

変革に挑戦する3年間

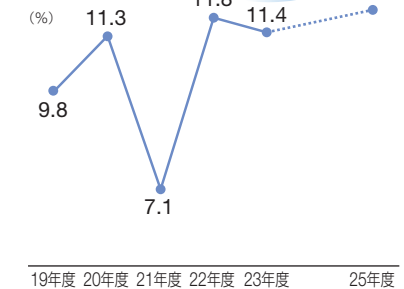
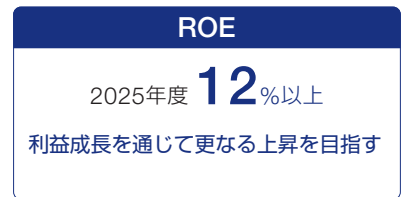
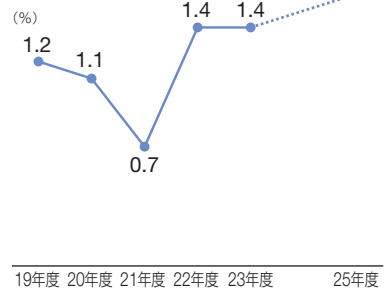
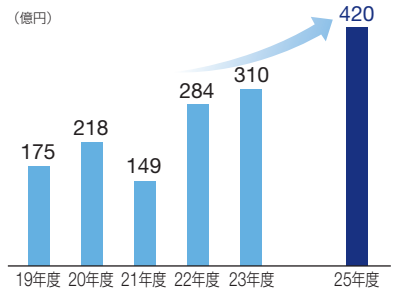
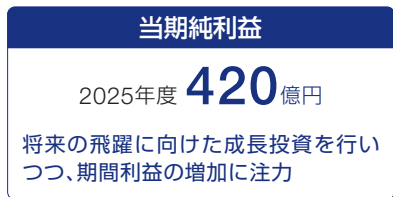


経営基盤の強化・高度化

お客さまとの価値共創に取り組み、当社が目指す姿の実現に向け躍進するために必要な経営基盤の強化・高度化に向け、積極的に経営資源を投下



財務・非財務目標



Carbon Neutral 脱炭素社会実現	再生可能エネルギー発電設備容量確保	1GW (2025年度)
	Scope1,2 CO ₂ 排出量削減* <small>*単体及び国内連結子会社7社</small>	排出量ゼロ (2030年度)
Circular Economy 循環型経済実現	ケミカル・マテリアル資源循環率	85%以上 (2027年度)
Human Capital 土台としての 人的資本経営	専門ビジネス人財の拡充	+80名超 (2025年度)
	人財育成のための投資額	3倍以上 (2025年度/2022年度比)
	デジタルIT人財の育成	200名以上 (2025年度)
	有給休暇取得率	80%以上 (2025年度)
	女性管理職比率	15% (2025年度)
	男性の育児休暇取得率	100% (毎年)